

あいら農業協同組合  
鹿児島県農業共済組合中部支所  
霧島市・始良市・湧水町  
始良・伊佐地域振興局

☎ 〇九九—二四五—一一五七  
<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujusho/index.html>

◎農薬の使用基準を守り飛散防止に努めましょう。

時期

生育ステージ

水管理

6

上

中

下

7

上

中

下

8

上

中

下

9

上

中

下

10

上

中

下

田植期

有効分げつ期

幼穂形成期

出穂期

登熟期間

成熟期

秋深耕

倒伏軽減・食味向上資材

穂肥

青籾比率が10～15%の時期が刈り取り適期

（田植えの基準適期

●山間地 あきほなみ 6月中旬

●平地 あきほなみ 6月中旬

●平地 あきほなみ 6月下旬

）

浅水

間断かん水

中干し（土用干し）

深水

間断かん水

落水（刈り取り1週間前が目安）

◎ 適期植付を行い、早植の防止に努めましょう

◎ 適正な栽植密度を守りましょう

・ヒノヒカリ 70株/坪

・あきほなみ 60株/坪

◎ 適期刈取を行い、刈遅れの防止に努めましょう

◎ 通風乾燥を行い、急乾燥、高温乾燥、過乾燥の防止に努めましょう

稲の一生

病害虫名

農薬名

10a当りの散布量

ヒノヒカリ

紋枯病、いもち病、コメカメシ類、ウンカ類

イネカメシ類、スタークル粉剤DL、スミチオン乳剤

3kg、1000倍、1000L

あきほなみ

紋枯病、いもち病、コメカメシ類、ウンカ類

イネカメシ類、スタークル粉剤DL、スミチオン乳剤

3kg、1000倍、1000L

農薬安全基準

※回数については、本剤での使用回数です。

| 病害虫名                | 農薬名                 | 使用時期                                     | 回数                   |
|---------------------|---------------------|------------------------------------------|----------------------|
| いもち病                | ブラシ粉剤DL             | 収穫7日前まで                                  | 2回以内                 |
|                     | ブラシフロアブル            |                                          |                      |
|                     | コラトップ粒剤5            | 葉いもちに対しては初発10日前～初発時穂いもちに対しては出穂30日前～5日前まで |                      |
| いもち病、紋枯病            | ダブルカットバリダフロアブル      | 穂揃期まで                                    | 2回以内                 |
| 稲こじ病、紋枯病            | モンガリット粒剤            | 収穫45日前まで                                 | 2回以内                 |
| 稲こじ病                | ドレボルドーA             | 出穂10日前まで                                 | —                    |
| スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）   | スクミノン               | 収穫60日前まで                                 | 2回以内                 |
| カメムシ類（イネクロカメシ含む）    | スミチオン乳剤             | 収穫21日前まで                                 | 2回以内                 |
|                     | スタークル粒剤             | 収穫7日前まで                                  | 3回以内                 |
|                     | スタークル液剤10           |                                          |                      |
| ウンカ類（幼虫）、カメムシ類      | オーケストラスタークルエアー      | 収穫7日前まで                                  | 3回以内                 |
| ウンカ類、カメムシ類          | エクシードフロアブル          | 収穫7日前まで                                  | 3回以内                 |
| ウンカ類、カメムシ類、コメカメシ    | トレボシ粉剤DL            | 収穫7日前まで                                  | 3回以内                 |
|                     | トレボシEW              | 収穫14日前まで                                 |                      |
| いもち病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類 | ノンブラストバリダ粉剤DL       | 収穫14日前まで                                 | 2回以内                 |
|                     | ダブルカットバリダトレボシ粉剤3DL  | 穂揃期まで                                    |                      |
|                     |                     | ゴウケツモンスター粒剤                              | 出穂5日前まで（但し、収穫45日前まで） |
| 紋枯病、ウンカ類（幼虫）、カメムシ類  | オーケストラロムダンモンカット粉剤DL | 収穫14日前まで                                 | 2回以内                 |

※ いもち病耐性菌が発生しやすいことから、アミスター、イモチエース、嵐剤を含む農薬を使用する場合は、箱施薬剤及び本田散布剤のいずれか1回にしましょう。

※ トビイロウンカについては、発生予察情報に基づいた第1世代幼虫の防除が重要です。（7月中旬～下旬）

箱施薬の各病害虫に対する効果

| 剤名            | 播種同時処理 | いもち病 | 紋枯病 | ウンカ類 | コメカメシ |
|---------------|--------|------|-----|------|-------|
| フェルテラゼクサロン箱粒剤 | 可      | —    | —   | ◎    | △     |
| 防人箱粒剤         | 可      | ○    | —   | ◎    | △     |
| スクラム箱粒剤       | 可      | ○    | ◎   | ◎    | △     |

◎効果大 ○効果あり △効果不足 ー登録なし

箱苗の作り方

（注）スミチオン乳剤はメーカーによって水稲に登録のないものがあります。

5日前

（1）箱消毒

（2）床土消毒

（3）種粗準備

（4）種子消毒

（5）モミガードC水和剤

（6）ダコニール

（7）移殖

（8）移殖後30日前

（9）移殖後30日後

（10）移殖後60日前

（11）移殖後60日後

（12）移殖後90日前

（13）移殖後90日後

（14）移殖後120日前

（15）移殖後120日後

（16）移殖後150日前

（17）移殖後150日後

（18）移殖後180日前

（19）移殖後180日後

（20）移殖後210日前

（21）移殖後210日後

（22）移殖後240日前

（23）移殖後240日後

（24）移殖後270日前

（25）移殖後270日後

（26）移殖後300日前

（27）移殖後300日後

（28）移殖後330日前

（29）移殖後330日後

（30）移殖後360日前

（31）移殖後360日後

（32）移殖後390日前

（33）移殖後390日後

（34）移殖後420日前

（35）移殖後420日後

（36）移殖後450日前

（37）移殖後450日後

（38）移殖後480日前

（39）移殖後480日後

（40）移殖後510日前

（41）移殖後510日後

（42）移殖後540日前

（43）移殖後540日後

（44）移殖後570日前

（45）移殖後570日後

（46）移殖後600日前

（47）移殖後600日後

（48）移殖後630日前

（49）移殖後630日後

（50）移殖後660日前

（51）移殖後660日後

（52）移殖後690日前

（53）移殖後690日後

（54）移殖後720日前

（55）移殖後720日後

（56）移殖後750日前

（57）移殖後750日後

（58）移殖後780日前

（59）移殖後780日後

（60）移殖後810日前

（61）移殖後810日後

（62）移殖後840日前

（63）移殖後840日後

（64）移殖後870日前

（65）移殖後870日後

（66）移殖後900日前

（67）移殖後900日後

（68）移殖後930日前

（69）移殖後930日後

（70）移殖後960日前

（71）移殖後960日後

（72）移殖後990日前

（73）移殖後990日後

（74）移殖後1020日前

（75）移殖後1020日後

（76）移殖後1050日前

（77）移殖後1050日後

（78）移殖後1080日前

（79）移殖後1080日後

（80）移殖後1110日前

（81）移殖後1110日後

（82）移殖後1140日前

（83）移殖後1140日後

（84）移殖後1170日前

（85）移殖後1170日後

（86）移殖後1200日前

（87）移殖後1200日後

（88）移殖後1230日前

（89）移殖後1230日後

（90）移殖後1260日前

（91）移殖後1260日後

（92）移殖後1290日前

（93）移殖後1290日後

（94）移殖後1320日前

（95）移殖後1320日後

（96）移殖後1350日前

（97）移殖後1350日後

（98）移殖後1380日前

（99）移殖後1380日後

（100）移殖後1410日前

（101）移殖後1410日後

（102）移殖後1440日前

（103）移殖後1440日後

（104）移殖後1470日前

（105）移殖後1470日後

（106）移殖後1500日前

（107）移殖後1500日後

（108）移殖後1530日前

（109）移殖後1530日後

（110）移殖後1560日前

（111）移殖後1560日後

（112）移殖後1590日前

（113）移殖後1590日後

（114）移殖後1620日前

（115）移殖後1620日後

（116）移殖後1650日前

（117）移殖後1650日後

（118）移殖後1680日前

（119）移殖後1680日後

（120）移殖後1710日前

（121）移殖後1710日後

（122）移殖後1740日前

（123）移殖後1740日後

（124）移殖後1770日前

（125）移殖後1770日後

（126）移殖後1800日前

（127）移殖後1800日後

（128）移殖後1830日前

（129）移殖後1830日後

（130）移殖後1860日前

（131

標準的施肥例と品種別栽培の留意事項

| 資材名      | 10a当り施用量 | 特 徴                                         |
|----------|----------|---------------------------------------------|
| ケイデツ     | 100kg    | 鉄分欠乏による秋落の防止。けい酸の補給による倒伏防止、増収・品質向上に役立ちます。   |
| ケイカル     | 100kg    | 茎や葉が丈夫になり病害虫、倒伏、冷害などに強くなります。登熟歩合が向上します。     |
| 鉄入り苦土重焼燐 | 20～40kg  | 鉄分を含んだりん酸肥料です。根の生育を促進し、秋落防止や鉄欠乏の予防に効果があります。 |
| 鉄入りシリカ   | 40～60kg  | ケイ酸・鉄分を含んでいますので、健全な根を作り、秋落・根腐れを防止します。       |
| シリカサポート  | 40kg     | 高溶出のケイ酸により、倒伏軽減や受光体勢、登熟効果を高める効果が期待できます。     |

（注）一発型肥料のプラスチック殻については、ほ場から河川や海へ流出しないように注意しましょう。

※ 標準的施肥例ですので、生育状況に応じた栽培管理を徹底しましょう。

◎ 品質向上対策について

・登熟期に気温が高いと、「高温障害」により「心白米」等が発生するおそれがあります。このため、田植を適期に行い、登熟期の高温を避けるようにしましょう。地域及び水利等のほ場条件に適した品種を選定しましょう。

◎ 抵抗性雑草について

・長年、同じ除草剤を使用し効かなくなった雑草が発生している場合には、抵抗性雑草対策剤として、ウイングランジャンボ・アシュラ1キロ粒剤・イネキング1キロ粒剤・サラブレッドKAI1キロ粒剤・エンペラー豆つぶ250を使用しましょう。

◎ ウキクサ・藻類の対策について

・モグテン粒剤を発生始～発生盛期（収穫45日前まで）10a当り2～3kg散布しましょう。湛水散布し、落水・かけ流しをないようにしましょう。藻類には、部分的に散布しても効果があります。

◎ スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の発生ほ場では

・冬場に耕うんを行い殺菌しましょう。作業は寒い時期が効果的です。卵の塊をできるだけ除去しましょう。田植後は浅水にしましょう。

◎ 稲こじ病の発生ほ場では

・種子伝染するため、発生した水田からは採種ないようにしましょう。常発地帯では窒素肥料の多施用を避けましょう。・出穂20日前までに薬剤防除しましょう。

※ 精油かすは、農薬として登録がとれておらず、魚毒性に非常に高いため、水田でのスクミリンゴガイ防除には使用できません。

※ 農薬は、容器包装に表示してある使用方法を確認して使用しましょう。

農薬をご購入の際は印鑑をご持参下さい。

## ◎「売れる米づくり」は、生産フロー フィール日誌の記帳から！

連絡先

**JA農産部・東部営農センター  
JA中部地域営農センター  
始良・伊佐地域振興局**

**TEL.(0995)55-7313**  
**TEL.(0995)64-9891**  
**TEL.(0995)63-8215**

**JA西部地域営農センター** TEL.(0995)65-2041  
**JA北部地域営農センター** TEL.(0995)54-1778